

やまのらくし

発行
八木学区
社会福祉協議会



百歳体操と城山北・城南地域包括支援センターの連携

八木学区社会福祉協議会 会長 関城 良典



昨年より進めてまいりました百歳体操と城山北・城南地域包括支援センターの連携協議ですが、今年2月をもちまして学区内のはぼすべての町内会、自治会におきまして協議が整いました。

具体的な連携方法は、百歳体操参加者の名簿をもとに、急に体操にこられなくなった方、長期に休まれている方など気がかりな方を百歳体操世話人がチェックシートに記入し、城山北・城南地域包括支援センターへ送ります。城山北・城南地域包括支援センターでは、そういった方々に対し、世話人や民生委員と連携を取りながら対応するというものです。

最近よく聞くフレイルという言葉があります。フレイルとは「加齢により心身が老い衰えた状態」のことを言います。フレイルを予防するためには、少しでも早く気づき適切な治療や予防を行うことが大切

ですが、今回の連携はこのフレイル状態に入ろうとする方をいち早く発見し、予防することにあります。

百歳体操と城山北・城南地域包括支援センターの連携の第2の目的は、地域の課題を発見し解決することです。



あの空き家は草がぼうぼうなど、それぞれの地域にはいろいろな課題があります。そういった地域の課題を百歳体操のチェックシートに、自由にお書きいただき、それら課題に対して八木学区社会福祉協議会はボランティア組織を活用して解決にあたります。

今回の百歳体操と城山北・城南地域包括支援センターの連携は、皆様の健康寿命を一日でも伸ばし、健康で明るい老後を送れるようにすること、地域の課題を解決し、住みやすい八木地区を実現するためのものです。どうぞこの趣旨をご理解いただき、百歳体操チェックシートを十分に活用していただきたいと思います。

令和5年度福祉委員・

民生委員児童委員合同研修会

八木学区社会福祉協議会

田中 早苗

2月4日(日)八木集会所において福祉委員・民生委員児童委員合同研修会が開催されました。

まず、安佐南区社会福祉協議会の尾田主事より福祉委員の役割について説明して頂きました。お話しによりますと福祉委員は地域によりやり方が少し異なりますが、一定範囲の地域を担当し見守りや相談活動を行うボランティアのことです。八木学区における福祉委員の役割は、福祉の増進と親睦を図り住みよく明るい地域社会をつくるためのアンテナ的存在、気にかけて繋ぐ、そして地域の福祉活動の裾野を広げること、との事でした。

次に、公益社団法人広島市視覚障がい者福祉協会理事で原田整形外科病院鍼灸師・マッサージ師の高松豊先生に講演して頂きました。高松先生は先天性の全盲で、中学から地元からは遠く離れた盲学校へ通うことになっていたのですが、その為に今までの地元の友達との交流が少なくなり寂しく感じていたそうです。そんな中、普通科の高校進学を奨めてくれた先生と出会いました。そしてそれならば地元の中学校に通った方が良く先生のお話から地元の中学校へ通う事を決意されました。しかし一方で「いじめられるのではないかと」と反対する先生もおられたようです。地元の中学校は盲学校と比べ人数が圧倒的に違い戸惑いもあったそうです。ある時、体育の授業後、教室に戻れなくなり困ったそうです。そこに通りがかった女生徒に思い切って尋ねたところ、たまたま隣のクラスの同級生で気持ち良く教室まで案内してくれたという事です。その時の同級生との会話の中で「わからない事や困った時は聞けばええんよ」と

言われとても気持ちが楽になったそうです。何故ならばそれまでは人に頼らずに生きていく事を徹底して教えられてきたからでした。

私は高松先生の講演を聞かせて頂くのは2回目ですが、もう一つのエピソードはバス停でバスの運転手さんが行き先を



教えてくれたので迷わずバスに乗れて助かったそうです。そのバスの運転手さんは何と同級生だったと言っていました。

そして最後にインクルーシブ教育についてお話していただきました。インクルーシブ教育は障がいや病気の有無、国籍や人種、宗教、性別といった様々な違いや課題を超え全ての子どもたちが同じ環境で学ぶことで、誰もが活躍できる共生社会の実現を促すそうです。高松先生自身、視覚障がいを障がいと言うよりも一つの個性と受け止めているとおっしゃっていました。高松先生のお話を聞かせて頂き、改めて地域に住む人を互いに知り、支え合うことがこれからの地域社会に大切なことと感じました。

あいさつ運動

佐東北地区民生委員児童委員協議会

会長 坂本 達雄

1月17日(水)「安佐南さわやかあいさつ運動(あいさつキャラバン隊)」が実施されました。月一回、朝の挨拶運動を行っている青少年健全育成連絡協議会、佐東北地区民生委員児童委員協議会



のメンバーに、安佐南区役所の職員が加わり、のぼりを持ち、タスキを掛け、小学校の門の前立ち、登校してくる児童たちに「おはようございます」と声掛けを行いました。児童たちも「おはようございます」と応え、気持ちの良い朝の挨拶運動が大々的に行われました。

「八木小学校やさしさ発見教室」見学記
 八木学区青少年健全育成連絡協議会
 会長 松尾 和則

2月2日(金)、八木小学校体育館で5年生2クラス約50名を対象に「やさしさ発見教室」が開講されました。目的は車椅子ユーザーの方から講話を聞き、車椅子の自走や介助方法の体験を通して、「優しい地域社会」の実現を願う思いやりの気持ちを育むことにあります。

藤井校長、また協力団体「うさぎ会」の永中会長、八木学区社会福祉協議会の片岡顧問の挨拶に続いて、長年車椅子生活をされている森重様は、「不自由な体であっても普通に接して欲しい」と話をされました。児童達はこの思いをしつかりと受け取ったようです。

講話が終わりの実体験です。2班に分かれ用意された車いすの具体的な操作方法を学びました。様々な障害物を乗り越え行き、坂道の怖さ、左右の車輪を操るストロムの技、僅か5cmのマット製の段差を超える難しさ等、体験し終わった児童たちの表情はやり切った達成感で皆満足げでした。

今年には体育館の中の仮想障害物ユニットコースに加えて、実際の屋外コースが追加されました。砂利道走行、水道蛇口の開閉、体育館東側の20センチ段差入口の進入路介助体験です。砂利道での



水道の蛇口に手が届かない



段差20cmの介助体験

車輪の回しにくさ、水道蛇口に手が届かないもどかしさ、20センチ段差を乗り越えられない介助者の絶望感を児童たちは味わったようです。児童達がこの貴重な体験を通して、障がいを抱える人たちの気持ちを思いやることのできる優しい大人になってくれることを切に願います。

新年会を開催
 追細町内会 会長 森川 一成

新年会は、町内会の一大イベントであり、毎年みんなが楽しみにしている会ですが、新型コロナウイルスまん延に伴う行動規制等から、中止したり規模を縮小せざるを得ませんでした。

しかし、新型コロナウイルスが5類に移行したことから1月14日(日)、八木集会所において、4年ぶりに新年会を通常通り開催することができました。

30名以上の参加のもと、皆で会食をしたり、ビンゴゲーム大会に盛り上がり楽しいひと時を過ごすことができました。参加者全員で、親睦を深めるとともに、皆が今年一年を元気で健やかに過ごせるよう話をしてお開きとなりました。



上ツ矢のどんど祭り
 上ツ矢町内会 会長 竹中 雄次

1月13日(土)、かなり強い風が吹く日でしたが、太田川河川敷で多くの皆さんの参加を得、消防団の方々の協力をいただいて、どんど祭りを盛大に行いました。

午前9時、有志が上ツ矢会館前に集合。竹の切り出し役と河川



敷での竹等の組立て役に分かれて作業開始。午後2時に神事。その後6年生男子3名による点火でとんどがスタート。燃え上がるととんどの炎や火で体を暖め、歓談しながらぜんざい・温めた竹筒のお酒をいただき、餅を焼き、今年一年の無病息災・家内安全を願いました。今年がよい年になりますように！

下細野のどんど祭り
 下細野自治会 会長 久留飛 邦訓

1月14日(日)にとんど祭りが開催されました。コロナも明けて、昨年に引き続き多くの皆さんに集まっていただきました。

事前に会場の草刈りをしてくださった方、廃材や孟宗竹を提供してくださった方、お酒や金一封を寄付してくださった方、当日早朝から竹の切り出しやとんどの組上げに協力してくださった皆さん、豚汁やぜんざいの炊き出しに協力してくださった皆さん、多くの方々のおかげで無事開催することができました。書初めの半紙を飛ばしたり、鏡開きの餅を焼いたり、お酒も振舞われて、自治会会員以外にも親戚や友人等約150名もの参加を得て、にぎやかな一日となりました。



別所どんど祭り、4年ぶりの開催
 別所第2区自治会 副会長 山田 征字

1月14日(日)、どんど祭りを八木第2公園で開催しました。前日、午後1時より自治会員有志により準備を始めましたが、竹・笹等の組み立て作業中、突風が吹き右往左往させられました。

14日は晴天に恵まれ、10時に点火、歓声と共に



勢いよく炎が燃え上がり、少し火が収まりかけたころ、大人、子供達が交代で重い杵を振り上げ餅つきをし、きな粉餅や、焼いてぜんざいに入れるなど、会場の皆さんでいただきました。竹等の準備から最後の火の始末まで皆さんのご協力でも無事終了しました。小規模ながらこの地域で、伝統のどんど祭りが続いていることのありがたさを痛感しました。



**八木学区オープンスペース
 子育てサロン
 オープンスペース代表 田中 早苗**



11月27日(月)に八木学区オープンスペース子育てサロンでクリスマス会を行いました。赤ちゃんパパ、ママに保健師さん、保育士さん地域ボランティアの皆さんも加わりとても楽しく賑やかな会となりました。

編集後記

八木学区では、どの町内会・自治会でも百歳体操やサロンが開かれていて、高齢の方たちの健康づくりや人間関係づくりの一助となっています。これからも、若い方たちも高齢の皆さんも明るく元気で過ごせる地域を目指していきたいと思います。

八木学区社会福祉協議会広報部
 社会福祉協議会事務局
 ☎ 田中 (873-4236)
 ☎ 藪 (873-2218)